

糖尿病診療—最新の動向

—医師・コメディカル向け研修会—

国立国際医療センターでは糖尿病診療に従事されている医師、コメディカルの方を対象に、糖尿病の最新の診断・治療についての研修会を下記の日程・要領で行います。ご関心をお持ちの方の多数のご参加をお待ち申し上げます（参加費無料）。

★日本糖尿病学会専門医更新単位 2単位取得可能

第5回 [東京会場]

期日：平成21年6月21日（日）9時45分～16時

会場：国立国際医療センター 戸山病院 研修棟 5階 大会議室
(〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1)

定員：150名

申込締め切り：6月18日（木）

第6回 [京都会場]

期日：平成21年7月26日（日）9時45分～16時

会場：京都大学医学部 芝蘭会館 稲盛ホール
(〒606-8501 京都市左京区吉田近衛町 京都大学医学部構内)

定員：230名

申込締め切り：7月23日（木）

申込、その他に関するお願い

(1) 申込方法：

- 糖尿病ネットワーク <http://www.dm-net.co.jp/event/staff/008076.php>にてオンラインお申し込み、又は参加申込書のダウンロードが可能です。
- e-mail アドレス dm-inf1@imcj.hosp.go.jp 宛に「研修会参加希望」とのタイトルにて、希望会場、施設名および氏名を明記してお申し込みください。参加申込書を数日以内に返信いたします。（なお、携帯電話からのお申し込みはご遠慮ください）

(2) 申込締切日前に定員に達している場合がございますので予めご了承ください。

締切日以降の事前受付はいたしません。定員に余裕があれば当日会場にて受付いたします。

(3) 申し込み後、やむを得ずキャンセルをされる場合は、必ず開催日前々日 16:00 までに dm-inf1@imcj.hosp.go.jp 宛にご連絡ください。

(4) 第5回、第6回研修会とも昼食は各自でお取りいただくようお願いいたします。両会場とも会場内でのご飲食はできません。

(5) 両会場とも車でのご来場はご遠慮ください。

お問合せ先：国立国際医療センター 戸山病院

糖尿病情報センター 「糖尿病 医師・コメディカル 研修会」 事務局

〒162-8655 東京都新宿区戸山 1-21-1 e-mail: dm-infl@imcj.hosp.go.jp

TEL: 03-3202-7181 (内線: 2161) TEL: 03-5273-6955 (ダイヤルイン) FAX: 03-3202-9906

講義題目・講師

講師は都合により変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

【東京会場】

9時45分～開会の挨拶

10時～

「糖尿病教育入院パスと糖尿病教室」

国立国際医療センター 戸山病院 岸本美也子

糖尿病は慢性疾患であり、生涯にわたる治療と教育が必要です。チーム医療、医療の標準化、質の向上の観点から糖尿病クリティカルパスを導入している施設や、患者教育の一環として糖尿病教室を開催している施設も増えていますが、そのあり方においては様々な問題があるのが現状です。本講では国立国際医療センターにおける糖尿病教育入院（クリティカル）パスおよび糖尿病教室の問題点と、その改良の過程をお話いたします。

「糖尿病とNST」

国立国際医療センター 戸山病院 曾部知恵

糖尿病患者の栄養管理には、いわゆる一般的な糖尿病の食事療法と糖尿病以外の疾患を合併している場合の栄養療法があります。後者の場合、多職種の医療スタッフが係わる栄養サポートチーム(Nutrition Support Team : NST)によるチーム医療が必要です。本講では国立国際医療センターにおける糖尿病患者に対する栄養管理の実際とNSTの関与をお話いたします。

11時30分～昼食休憩

12時30分～

「糖尿病診療におけるEBMの実践」

国立国際医療センター 戸山病院 能登 洋

EBMはエビデンス(実証報告)を吟味したうえで臨床判断の基準とするアクションで、患者さんに始まり患者さんに帰着する個別化医療を推進します。EBMという呼称は人口に膾炙するようになってきましたが、その実践法は必ずしも正しく理解されていません。本講ではダイエットの効用を例にエビデンスの吟味と実地活用の仕方についてお話いたします。

「改正医療法と糖尿病地域医療連携パス」

国立国際医療センター 戸山病院 高橋義彦

糖尿病等の生活習慣病の予防対策と切れ目のない医療提供体制の実現は、医療制度改革の大きな柱であり、医療保険者に対する特定健診・特定保健指導の義務付けや、都道府県が主体となった医療計画の作成、地域医療連携パスの導入促進等が盛り込まれております。本講ではそれらについて概説いたします。さらに、糖尿病地域医療連携パスとは何か、その現状と問題点などについてお話しいたします。

「アジアにおける糖尿病の実態」

国立国際医療センター 戸山病院 梶尾 裕

近年、経済成長による生活習慣や社会環境の急激な変化に伴って、特にアジア諸国では急速に糖尿病患者数が増加しています。本講ではアジアにおける糖尿病の実態を我々が積極的に調査、研究を行っているベトナムを中心にお話しいたします。

「糖尿病—最近の話題」

国立国際医療センター 戸山病院 野田光彦

本講では日進月歩ともいべき糖尿病診療の進展を踏まえつつ、GLP-1アナログ、DPP-4阻害薬など、来るべき糖尿病の新しい治療をサマライズするとともに、わが国の糖尿病臨床研究を代表するともいえる「糖尿病予防のための戦略研究」の現況とその将来展望についても合わせ呈示します。また、最近のわが国を含めた2型糖尿病遺伝子研究の進展や、糖尿病血管合併症抑止のための世界の大規模臨床試験についてもそのポイントを抄出し、時間の許す限り紹介したいと思います。

16時終了

【京都会場】

9時45分～開会の挨拶

10時～

「カーボカウントの基礎と実践」

国立病院機構 京都医療センター 佐野喜子

糖尿病患者における食後高血糖に注目する重要性に関して、エビデンスが蓄積されつつあります。その改善手法として、アメリカ糖尿病協会はカーボカウントを食事管理指標として用いています。しかし、日本においてはその教育法が十分に普及されていないため、現場では指導法に悩んでいます。本講では、患者や医療スタッフの疑問を通じて、カーボカウントの基礎編を理解すると共に、京都医療センター1型糖尿病専門外来における実践をお話しいたします。

「糖尿病—最近の話題」

国立国際医療センター 戸山病院 野田光彦
東京会場と同内容。

11 時 30 分～昼食休憩

12 時 30 分～

「糖尿病診療における EBM の実践」

国立国際医療センター 戸山病院 能登 洋
東京会場と同内容。

「糖尿病教育入院パスと糖尿病教室」

国立国際医療センター 戸山病院 岸本美也子
東京会場と同内容。

「改正医療法と糖尿病地域医療連携パス」

国立国際医療センター 戸山病院 高橋義彦
東京会場と同内容。

「新しい糖尿病治療の幕開け」

京都大学大学院 糖尿病・栄養内科学 稲垣暢也

欧米で既に使用され始めている GLP-1 受容体作動薬や DPP-4 阻害薬といったインクレチン関連薬は、低血糖や体重増加をきたしにくいインスリン分泌促進薬であり、日本人の 2 型糖尿病においてより有効である可能性があります。さらにこれらの薬剤は膵β細胞の保護作用も期待されています。本講ではこれからわが国においても登場するであろうインクレチン関連薬についてわかりやすくお話いたします。

16 時終了

★ なお第 7 回研修会【山口会場】は平成 21 年 9 月 13 日(日)海峡メッセ下関 (〒750-0018 山口県下関市豊前田町 3 丁目 3-1) にての開催を予定しております。
詳細は追って本ホームページにてお知らせいたします。